

Vol.5(2).2026

発行日：2026-10-19

検査部ホームページ

下記URLまたはQRコードにて検査部のことをもっと
知ることができます！！ぜひご覧ください！！<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/origin/clinilabo/>学会
Report第36回世界医学検査学会（IFBLS2026）
にて多くの技師が発表しました。

2026年9月23日～27日、千葉・幕張メッセにて第36回世界医学検査学会（IFBLS2026）が開催されました。当院からも多くの職員が参加し、6名の技師がポスター発表を行いました。当院検査部では、日々の業務に加えて学術活動にも積極的に取り組んでおり、国内外の学会での研究発表を精力的に行っています。今回の国際学会への参加・発表を通じて、日頃の研究成果を広く発信するとともに、国内外の最新の知見に触れる貴重な機会となりました。今後も、臨床業務の質の向上につながる研究活動を推進し、国内外への情報発信に努めてまいります。

学会レビュー 市岡里奈 技師

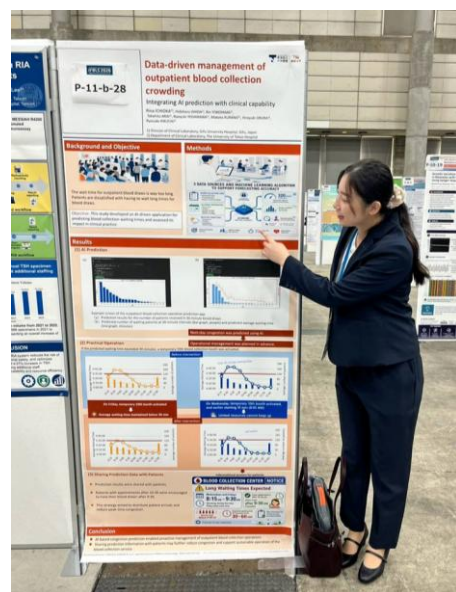
今回ご縁があって東京大学医学部附属病院との共同研究として取り組んできた、AIを活用した外来採血待ち時間予測について、IFBLSでポスター発表を行いました。この研究は、日々の採血業務における「患者さんの待ち時間を少しでも短縮できないか」という課題から始まりました。共同研究を通して、これまで蓄積してきた採血患者数や待ち時間などのデータを活用し、将来の混雑状況を予測するAIアプリケーションの開発、さらに予測結果を実際の採血室運用に生かす取り組みへと発展しました。そして、その成果を国際学会という場で発表する機会につながりました。

海外の臨床検査技師や研究者に英語で自分たちの取り組みを伝えることは大きな挑戦でしたが、国や医療環境が異なっても、業務効率化や患者サービス向上という課題には多くの共通点があることを実感しました。

今回、日常業務の中にある課題を研究につなげ、その成果を国内にとどまらず海外へ発信できたことは、大変貴重な経験となりました。この経験を検査部内にも還元し、今後も日々の小さな気づきを大切にしながら、より良い検査サービスにつながる取り組みを続けていきたいと思います。



講演中の石田副技師長

外国の参加者とも交流を
深めることができました。

市岡技師の発表

採血前に、腕を温めてみませんか？

これから少しずつ寒くなってくると、寒さによって血管が収縮し、血管が見えにくくなったり、採血が難しくなったりすることがあります。血管が細い方や、採血が難しいと感じている方は、採血前に腕を温めてみませんか？

検査部の受付では、採血前にご使用いただけるカイロやホットパックをご用意しています。

腕を温めることで血管が見えやすくなり、採血がスムーズに行えることがあります。

採血に不安のある方や、普段から血管が見つかりにくい方は、どうぞ遠慮なく検査部受付のスタッフまでお声かけください。

皆さまに安心して採血を受けていただけるよう、お手伝いいたします。



カイロ・ホットパックをご使用の方へ

安全にご使用いただくためのお願い

1 温める場所

採血する腕を中心に温めてください。



2 やけどに注意

熱く感じなくても、長時間同じ場所に当て続けると、低温やけどを起こすことがあります。



3 直接肌に当てない

必要に応じてタオルなどを挟み、熱さを感じた場合はすぐに使用を中止してください。



4 使用中はスタッフの案内に従ってください



スムーズな採血にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

一次サンプル採取マニュアルのお知らせ……………

第14版に改訂となっております。一次サンプル採取マニュアルは、検査部、輸血・細胞治療部、病理部で取り扱う情報を記載しております。ぜひご活用下さい！！

INFORMATION

検査部レター編集部よりお知らせ

検査部レターにて、「〇〇検査って何？」、「〇〇検査の条件は何？」など検査の疑問を募集しています。今後、内容を精査し検査部レターにて疑問点にお答えさせていただきます。

(本フォームではクレーム等は受け付けることができません)

下記Googleフォームまでお気軽に投稿ください。

<https://forms.gle/9g8oCwuVMSvXiiC4A>



QRコードからどうぞ

